



シャローム shalom

No.148

2018.秋号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。

歩き続けよう

すわ
日本バプテスト看護専門学校 教務部長 諏訪 なぎさ

本校はイエス・キリストの隣人愛に倣うクリスチャンナスを養成するために、1966年に開校しました。1学年15名の定員に対し全国のキリスト教会から推薦された女子が看護師を目指し集まりました。その後1990年には、キリスト教信徒以外にも入学の門戸を広げ、「全人医療」を行う看護師を養成し世に送り出すことを使命としてきました。

本校の看護教育には、バプテスト病院をはじめ近隣の大学や病院等からたくさんの方が講師として協力して下さいました。京都や大阪や滋賀の医療・介護・福祉施設が、学生の実習を受け入れ育んで下さいました。そして、バプテスト連盟だけでなく、宗派を超えた近隣のキリスト教会が学生を受け入れ、物心ともに支えて祈って下さいました。近年はボランティアの方々に模擬患者をお願いし演習に協力していただいています。沢山の方の願いと祈りによって支えられてきたことを心より感謝申し上げます。

最後の卒業生となる51回生は、現在、病院や地域で後半の実習に取り組んでいます。前半4クールの実習の後、8月末に統合演習OSCEを終え、自分の課題を意識しながら毎日真剣に患者さんや利用者さんと向き合い看護を学んでいます。12月には学生がチームで複数患者さんの看護を担当する総合実習を行って実習を終了し、2月の国家試験に向けて学習に取り組む予定です。本校は2019年3月で、53年に亘る看護教育の歴史を閉じようとしています。卒業生は780名あまり、日本全国のみならず、海外でも活躍しています。どこにいてもどんな役割を担っていても、この学校で学んだ「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」(マタイによる福音書25章40節)の聖書の言葉のように、自分の目の前にいる人にとって今必要なことを真剣に考え、愛をもって行動する精神を、今までもそしてこれからも胸に抱き歩き続けたいと思います。



Interview

M.L.イマヌエル学校長による戴帽

糖尿病教育入院プログラム

当科では2018年11月5日より、糖尿病教育入院を約3年ぶりに再開いたします。今回より用いる新しい教育入院プログラムは、2週間コースのほか5日間コース（基礎コース）を設けております。また「どうしても入院できない」という通院患者さんのためにも、いくつかのテーマ（★印）については個別に参加して頂くことも可能です。詳しくは表をご覧ください。皆様よろしくお祈りいたします。

やまだ かずのり

糖尿病内科部長 **山田 和範**



		月	火	水	木	金	土	日
A週 (基礎コース)	AM	糖尿病について (ビデオ)	食事療法 (ビデオ)	運動療法 (ビデオ)	糖尿病網膜症 (ビデオ)	歯周病と口腔ケア (看護師)	(試験外泊) (家族指導)	
	PM	★糖尿病とはどんな病気? (医師)	★検査のハナシ 血糖値とHbA1c (看護師) (臨床検査技術)	薬物療法 飲み薬 (ビデオ)	★糖尿病食事療法のための食品交換表 (管理栄養士)	★献立作成の実際 (管理栄養士)		
B週	AM	低血糖 (看護師)	食事療法 (ビデオ)	運動療法 (ビデオ)	日常生活の注意点とショックデイ (看護師)	★フットケア (看護師)	(試験外泊) (家族指導)	
	PM	糖尿病の合併症 (医師)	検査のハナシ 生理検査など (臨床検査技術)	薬物療法 注射 (薬剤師)	外食のしかた 災害時の備え (管理栄養士) (看護師)	★カードバイキング (管理栄養士)		

※病状説明は医師より、指導は管理栄養士・薬剤師・臨床検査技術より個別にさせていただきます。
※平成30年10月現在

聖書の小道

第38回

「魂への声かけ」

イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」

ルカによる福音書
19章5節

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン **宮川 裕美子**



こんな話を聞きました。「富士山が見えます」というアナウンスが機内に流れると、初老の夫婦が写真を取り出して窓際のテーブルの上に置きました。その写真がこの夫婦の息子のものだとわかった客室乗務員が、二人に飲み物を渡した後にこう言いました。「窓際の方にもおひとつどうぞ」。コップを受け取った夫婦は泣き出したそうです。人々に嫌われて孤独だった徴税人ザアカイは、イエスのこの声かけで大きな喜びに溢れました。そして、これまでの取り立てる生活を省み、喜んで与える生活を公言しました。魂に声をかけられたことによって生き方そのものまで変えられたのです。その人の大切としていることや深い痛みに気づき、そこに優しく触れる言葉や行為は人の魂を癒すものとなり、喜んで生きる力につながります。

「聖書はありますか？」の声にお答えします！

時々「以前は床頭台に聖書が入っていましたね」とお声をかけてもらいます。また「今でも聖書をもらえますか」というお問い合わせがあります。かつては病院のすべての床頭台に日本国際ギデオン協会贈呈の新約聖書を設置していました。今は病院1階受け付け前の牧師室コーナーに置いてあります。ご希望の方はどうぞご自由にお取りください。または牧師室スタッフにお知らせください。

アドベント入り

今年のアドベントは12月2日(日)です。よって、12月3日(月)より当院イルミネーションを行う予定としています。お楽しみに！

牧師室からの
おしらせ



季節の変わり目は気温の変化が激しく、特に喘息症状が起こりやすくなります。そこで今回は喘息治療に欠かせない「吸入薬」について紹介したいと思います。

吸入薬には色々な種類があります。例えば喘息治療に欠かせない強い抗炎症作用をもつ吸入ステロイド薬、気管支を拡げて呼吸を楽にする β 2刺激薬、どちらも併せ持つ合剤など…症状に合った吸入薬を使用する必要があります。吸入薬は薬剤が直接気道に到達するため、薬剤量が比較的少量ですむ合理的な治療法です。例えばステロイドは経口薬や点滴に比べ吸入薬では通常量を使用している限り全身性の副作用は極めて少ないとされています。但し、吸入ステロイド薬は嚔声や口腔内のカビ防止のためにも吸入後に必ずうがいをして下さいね。吸入器にも色々な種類があり、その中でも代表的なものをいくつか紹介します。「ドライパウダー」は粉末の薬剤を自分で吸い込むタイプの吸入薬です。勢いよく吸い込みましょう。「エアゾール」はガスの圧力で薬剤が噴射されるタイプの吸入薬です。噴射と吸入のタイミングを合わせてゆっくり吸入し、その後はしばらく息を止める必要があります。タイミングを合わせることが困難な場合は「スパーサー」や「リザーバー」と呼ばれる吸入補助具を用いて下さい。「ネブライザー」は専用の器具を使い薬剤を霧状にします。吸入が上手に出来ないお子さんやご高齢の方でも自然な呼吸で吸入出来るのが特徴です。

吸入薬は正しい吸入方法を取得するとともに自分にあった吸入器を使うことも重要なポイントです。吸入方法や吸入のコツなど、気になることがあればぜひ薬剤師に相談して下さい。

Hospice

ホスピスボランティア リレーコラム

ホスピス病棟ベランダ花壇の癒し

ほそや
園芸療法士 細谷 ゆみ

朝顔のツルが伸び蕾も膨らみ始めた8月。「何色の花が咲くのか楽しみやわ」。花の手入れをしていた私に話しかけてきたAさん。毎日開花を心待ちにしていると。花は待ち望む楽しみを与えてくれる。「好きな花を植えたい」と体力を傾け植えて余生を花と共に過ごしたBさん。花は人生の最期の場に癒しをもたらす。車いすで散歩中、華やかに咲くバラを眺め「私にも満開を誇るバラの様に充実した時があった。命が果てるのも自然なこと」と迫る死を受け入れたCさん。花も精華を過ぎれば枯れていく命の営みがあることにわが身を重ねた。花にはしずかな佇まいが発する人間へのメッセージがある。ホスピス病棟で出逢う患者様から植物がもつ癒しの力を学ぶ。2012年6月からボランティアに参加して以来、多くの方々の協力でベランダの花が年中、潤っていることに感謝する。最近では「この種をまいてほしい」等リクエストを頂き参加型の花壇となってきた。芽吹き成長していく花に喜びをもらう。療養環境のオアシスとなるよう皆で慈しまたい。



新任ドクター紹介

なかむら あやの
産婦人科医員 中村 彩乃



10月1日より日本バプテスト病院産婦人科に着任いたしました中村彩乃と申します。以前は京都大学病院、大阪赤十字病院に勤務しており、妊婦健診や分娩などの周産期医療から、婦人科良性腫瘍や悪性腫瘍などにわたり診療を行ってまいりました。今まで得た経験を生かし、全ての年齢の女性の方に安心して診療を受けていただけるよう尽力させていただきたく思います。どうぞよろしくお願いたします。

催し物予告

医療団 クリスマスコンサート

出演：京都シティーフィル合唱団

日時：2018年12月22日（土） 13:50～14:30

会場：イマヌエルホール（看護学校1階）

創立60周年の京都シティーフィル合唱団の皆さんを、今年もお迎えます。当医療団でのコンサートは20回目を迎えます。

*都合により、変更・中止の場合があります。ご了承ください。



イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

電話 (075) 702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2018.6.1-8.31) 敬称略

東大阪キリスト教会 日本バプテスト連盟 鴨東教会 教会学校

日本バプテスト 相模中央キリスト教会 北山バプテスト教会

小野 久男 大西 寛子 塚本 誠一 湊 眞治・久子

日本バプテスト連盟全国青年大会

催し物報告

2018年度 地域医療連携懇話会

9月22日（土）、京都ホテルオークラにて「地域医療連携懇話会」を開催いたしました。

第一部（講演会）では、尼川病院長より「日本バプテスト病院がめざすもの」と題した報告がありその後、京都大学医学研究科高折晃史教授による「血液内科診療の現状と未来」と題した特別講演を聴講しました。第二部（懇親会）はフルートとヴァイオリンのデュオ演奏で始まり、左京医師会会長赤木先生のご挨拶・乾杯のご発声の後、ウクレレ演奏や、鈴鹿内科医院鈴鹿先生のアコーディオン演奏も交えて、食事を共にしながら大変有意義な会となりました。

今後も開業医の先生方をはじめ、医療・介護施設の皆さまとの一層の連携強化を図ってまいります。是非よろしくお願いたします。



▲ 講演会の様子

▼ 懇親会の様子



年末年始休診日について

2018年12月29日（土）～2019年1月3日（木）まで、休診致します。

救急外来

内科…24時間対応

小児科…12/29・30・1/2・3 9:00～16:00

(12/31・1/1は、休診致します)

～事前に確認の電話をお願い致します～

TEL. 075-781-5191 (代表)

1/4より通常通りの診療となります。

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.148 2018年10月発行

発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人／代表理事 北 堅吉 編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会



カフェテラス オリーブ

オリーブのパン
お買い上げで **コーヒー無料券** (ティクアウト用)

※パンお買い上げと同時にコーヒーをご注文で、コーヒーを無料でご提供します。
※お1人様利用1回限り。※本券1枚で4名様まで(人数分以上のパンお買い上げが必要です)。
※コピー不可。※換金できません。

有効期限 2018年12月末日

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <http://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト居宅介護支援事業所